

## 歴代会長

黒川 透	大谷 晴雄	波川 達二	黒田 輝男	伊藤 賢二
高橋 良夫	谷野 重作	黒田 義一	波川 達二	日比 久
石井 幸	黒田 輝男	谷野 重作	黒田 義一	(戦後組織化された会長名)

## 町会の成り立ちと桃園会館

そもその起源は、誰も知らずわかりません。古老の話で「大正時代の頃、町の旦那衆が土地を提供し町の人の集まる場所「桃園会館」を建築してくれました。建物は100坪近くあり、大・中・小の畳敷き三部屋があり、大部屋には舞台もあります。また、敷地内に井戸・お稲荷さんを祭祀し、町の繁栄をお願いした。」これが現存する桃園会館で、以来ここを中心として現在の桃園会館に発展してきました。

戦争中（大東亜戦争）は、屋根の上に監視塔があり、空襲等を知らせる鐘が吊るしてありました。塔はなくなりましたが、鐘は保存されています。学童疎開の時、町の子供たちは会館で家族に別れを告げ、小学校（旧桃園第三小「国民」学校／現桃花小学校）に集合し、中野駅に向かいました。幸いこの地域は戦争を免れ、戦後会館は復興の一助として文化芸能面で大いに活用されました。青少年育成活動や学習塾、舞踊や演劇、町の人たちの学芸会、講談、落語、漫才、浪花節、小演劇等の貸席等々地域の活性化に現在も貢献しています。桃園会館の歴史がそのまま桃園町会の歴史で、この先いつまでも町を見守って欲しいものですが、築90年位、さすがに寄る年波には勝てず平成28年（2016年）6月に震災に備え天井を取り外し梁、柱も補強しました。いずれ新築を考えています。

町の一画に高級住宅地（神田屋敷、お屋敷まちと言われている）があり、ここに住んでいる文化人・芸術家・財界人・政治家等の方々も、町のためにいろいろ力を尽くして下さいました。近所に「ほりのうち道」と彫られた石の道標があり、杉並堀之内の妙法寺への抜け道であったことを示し、当時池上本門寺へ繋がるお参り道として会館辺りが中野からの起点であったことを偲ばせています。

現在、都市計画「中野駅周辺再開発」が進められ、中野駅ビル・西口改札・南北道路、旧桃丘小跡地等の建て替えが予定されています。町会では「まちづくりプロジェクト」を立ち上げ、より良い桃園町会になる様に行政等に働きかけています。

## 町会活動

25名の理事で総務、防犯交通、防災防火、社会福祉、環境保健、文化青少年、女性の7部、また会計、まちづくり、見守り、編集(広報)もあり各々連携を取りながら活動しています（定例会毎月17日）

5月総会・8月盆おどり・9月緑のカフェ・10月敬老会・12月もちつき会・1月新年会・3月桃の会、また月1回おしゃべりサロン・月2回キッズサロン・毎週金曜日夜間町内パトロール・毎週2回（日・木）囲桃園公園清掃とラジオ体操等のイベントを開催し、年4回「桃園町会広報」を発行して宣伝・啓発しています。

